

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

清須市地域公共交通計画の評価等結果（令和５年４月～令和６年３月）

1/3

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
あしがるバスを核とした移動利便性の向上	・収支率：11.0％(H30)→8.9％(R6) ・年間利用者数：69,986人(H30)→101,100人(R6) ・１便あたりの利用者数：5.6人(H30)→6.5人(R6) ・利用者１人あたりの市の財政負担額：900円(R3)→800円(R6) 《令和５年度目標値》 ・収支率：8.9％ ・年間利用者数：97,500人 ・１便あたりの利用者数：6.2人 ・利用者１人あたりの市の財政負担額：833円	あしがるバスの運行	運行事業者からの実績報告	・収支率：9.1％ ・年間利用者数：86,587人 ・１便あたりの利用者数：5.3人 ・利用者１人あたりの市の財政負担額：809円 ・利用者数は目標値を下回ったが、どのルートもコロナ禍前の利用者数を上回る実績となった。 ・原油価格の高騰により燃料油脂費が高止まりしているが、あしがるバスの利用者数はコロナ禍前の状況まで戻り、収支率と財政負担額は目標を達成した。	新型コロナの５類引き下げやルート・ダイヤ改正の影響もあり、コロナ禍前の状況を上回る実績まで回復した。 一方で、利用方法やバスロケーションシステム等について知らない方もいるので引き続き周知し、市民・利用者への定着を図る。また、利用するきっかけづくりとして利用促進施策を実施し、利用者数の増加を目指す。	平成30年10月の路線増加に伴い、収支率の目標値が減少している。
	あしがるバスを利用したことがある人の割合：16.0％(H30)→基準値より上昇(R5)	利用促進活動	市民満足度調査	・27.9％ ・あしがるバスで市内を移動することができることが定着したことや利用促進事業が再開したことも要因と考えられる。	ルート・ダイヤ改正の内容が利用者に定着したことや継続して実施している利用促進事業によりバスを利用した方が増えたと推察され、目標を達成することができた。今後も継続して利用促進活動を実施していく。	市民満足度調査(数年ごとに実施)の結果により測定するものである。
	鉄道との乗継を考慮したあしがるバスのルート設定	あしがるバスのルート・ダイヤ最適化	ルート・ダイヤ最適化に向けた進捗状況より	・ルート・ダイヤ改正の効果検証 ・令和４年10月改正前後の利便性について、利用していないので分からないと回答する方が８割以上と多く、Googleマップの反映についても知らない方が多かった。	市内に複数ある鉄道駅へのあしがるバスの乗り入れを継続するとともに、令和４年10月に実施したルート・ダイヤ改正について、アンケート調査等により効果検証を行った。Googleマップに反映されていることを知らない方が多かったため、引き続き周知に努めた。	
鉄道・バスを利用できない障害者・要介護者等を対象とした移動手段(STS)の確保	タクシー料金助成制度の継続実施	タクシー料金助成制度の実施	担当課へ聞き取り	・制度に基づき実施 ・問題なく実施できている。	障害者に対するタクシー料金助成制度及び福祉有償運送制度を継続して実施し、適切な運用を図った。 今後も福祉の推進、外出機会の確保・増加を図るとともに、障害者や要介護者等に対する安全・安心な輸送サービスを確保するため、継続実施に努める。	
	福祉有償運送制度の継続実施	福祉有償運送制度の適切な運用		・制度に基づき実施 ・問題なく実施できている。		
市内観光施設を巡る移動手段の確保	レンタサイクルの利用者数(年間)：77人(H30)→150人(R6)	レンタサイクル事業の実施	担当課へ聞き取り	・227人 ・不特定多数の人手が見込まれるイベント等が再開し、清洲城の来場者数もコロナ禍前以上まで回復していることもあり、レンタサイクルの利用者数も目標が達成できた。	観光に特化した事業としてレンタサイクルの認知度を高めていくため、今後も観光誘客の促進と合わせた事業の周知に努める。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

清須市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

2/3

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
地域公共交通に関する積極的な情報発信	あしがるバス利用促進イベント等の開催回数：2回(H30)→1回以上(R6)	あしがるバス利用促進イベント等の開催	各イベント等の記録データより	・1回 ・春日五条川さくらまつりが再開され、PRブースを設置して利用促進を図った。	利用促進事業の開催により、バス利用の機会創出やバスロケーションシステムを知っていたくきっかけとなった。 イベント等は、多くの新規利用者が見込まれるため継続して実施し、利用促進に努める。 また、名古屋タクシー協会からの情報提供を受け、市ホームページにタクシーにおける新型コロナウイルス感染防止対策を紹介するページを引き続き掲載した。	
	あしがるバス一日無料デーの参加者数：383人(H30)→400人程度(R6)	あしがるバス一日無料デーの実施		・444人 ・昨年に引き続き、過去最大の利用者数を記録した。		
	コミュニティバス乗り方教室の開催回数：2回(H30)→1回以上(R6)	コミュニティバス乗り方教室の実施		・2回 ・これまでのバスの乗り方のほかに、感染防止対策の紹介やルート・ダイヤ改正の周知も行った。		
	タクシーに関する情報発信	タクシーに関する情報発信	市ホームページより	・引き続き実施 ・タクシーにおける新型コロナウイルス感染防止対策の取組を周知した。		
地域公共交通サービスの充実	バスロケーションシステムの運用	バスロケーションシステムの周知	バスロケーションシステムサイトより	・計画通り運用 ・問題なく運用できている。	バスロケーションシステムを運用し、バスの運行状況を発信するとともに、お知らせ欄を活用してイベント等を周知をした。これにより、スムーズな情報発信と問合せ対応をすることができた。今後も継続して運用していく。 バス情報のオープンデータを適宜更新し、適切な情報を発信した。引き続き、最新のバス情報が提供し、活用をしていただけるよう周知に努める。	
	バス情報のオープンデータ化	バス情報のオープンデータ化の推進	市ホームページより	・実施 ・適切な情報を掲載できている。		
安心・安全かつ円滑・快適に利用できる駅前環境の整備	自転車等放置禁止区域の見回りの実施	自転車等駐車対策事業	担当課へ聞き取り	・計画通り実施 ・問題なく実施できている。	定期的に自転車等放置禁止区域の見回りを実施し、自転車の放置防止に関する啓発に努めている。 清洲駅前土地区画整理事業では、区画道路の道水路築造、埋蔵文化財調査及び移転補償を行った。 新清洲駅北土地区画整理事業では、前年度から引き続き建物等の移転補償を進め、併せて雨水排水路、上下水道、ガス等の整備を行い、道路の築造を実施した。 各事業とも、継続して実施していく。	
	・土地区画整理事業の推進(JR清洲駅) ・土地区画整理事業の推進(名鉄新清洲駅)	駅前の土地区画整理事業		・計画通り実施 ・問題なく実施できている。		

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

清須市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

3/3

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市民・交通事業者・行政の協議の場づくり	・地域公共交通会議の開催回数：3回(H30)→3回以上(R6) ・地域公共交通会議での市民委員の参加	地域公共交通会議の開催	地域公共交通会議の会議資料	・3回 ・参加している ・地域公共交通計画のスケジュールに基づいて適切に開催された。	地域公共交通会議を3回開催し、アンケート調査や地域公共交通確保維持改善事業費補助金に関する議題を中心に、市民、交通事業者、関係団体との協議を行った。 今後も、清須市地域公共交通計画に基づき、適切に会議を開催するとともに、交通事業者にも参画していただき連携を図っていきたい。	
市民ニーズの把握	市民アンケート調査等の実施	市民アンケート調査の実施	市ホームページより	・実施 ・回収率は前回と比べ減少した。	「公共交通に関する市民アンケート調査等」を実施し、次期地域公共交通計画に向けて市民ニーズや実際の乗車状況を把握した。 設問数や実施時期・期間等を再度検討し、次の回収率向上に繋げていきたい。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。